

福祉用具相談・研修機関協議会 平成26年度全国会議 開催要項

1 目的

急速な高齢化による要介護高齢者の増大等に対応するため、平成4年度から各都道府県及び政令指定都市に介護実習・普及センターが設置され、①老人介護の実習等を通じて地域住民への介護知識、介護技術の普及を図り、②介護用具等の展示、相談体制を整備し、介護用具等の普及を進めてきました。しかし、近年では、地域における介護技術の普及や企業・事業者等による介護用具等の展開が進む中で、これまでの介護実習・普及センターの意義・役割の見直しが求められ、その一方で自立した在宅生活の継続や在宅移行等の促進により、なお一層の役割と期待も高まってきています。

また、要介護高齢者の自立支援と介護環境の整備充実を目指して、高度・高機能を有する新たな福祉用具の開発と普及・促進に伴い、利用者の自立支援と介護者の負担軽減の側面から、福祉用具の展示・相談・研修の機能を有する広域的な機関に対する期待も高まってきています。

そこで、今年度からは、介護実習・普及センターが有してきた福祉用具の展示・相談・研修の機能を有する機関を参集範囲とし、「福祉用具相談・研修機関協議会」として福祉用具・介護ロボット等や住環境整備に関する展示・相談機関や研修機関において共通した方針・方向性を打ち出し、内外への提言も含め検討していくことを目的に全国会議を開催します。

2 主催

福祉用具相談・研修機関協議会

3 期日

平成26年10月30日（木）～31日（金）

4 会場

弘済会館 4階「萩」

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1 TEL 03-5276-0333

5 参加対象者

- (1) 介護実習・普及センター所長等の代表者並びに職員
- (2) 都道府県及び政令指定都市の関係職員
- (3) リハビリテーションセンターの関係職員
- (4) 福祉用具展示場の関係職員
- (5) 福祉用具相談機関の関係職員
- (6) 福祉用具研修機関の関係職員
- (7) その他関係者（病院・施設・訪問等での福祉用具相談・研修担当者等）

6 日程

別紙「プログラム」のとおり

7 参加費（2日目の昼食を含みます。税込）

福祉用具相談・研修機関協議会会員 参加者一人につき 4,000円
福祉用具相談・研修機関協議会非会員 参加者一人につき 10,000円

※福祉用具相談・研修機関協議会会員とは、別紙「福祉用具相談・研修機関協議会入会届」を提出いただいた機関です。なお、今年度の会費は徴収いたしません。

※今年度は参加者数の予測ができないため、原則3名までとさせていただきます。

4名以上希望の場合は事務局までお問い合わせください。

8 情報交換会費（税込）

参加者一人につき 6,000円

9 参加費等の支払い方法

請求書を発行しますので、指定の銀行口座へ振込をお願いします。

振込手数料はご負担願います。銀行払込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。

10 参加申込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、平成26年9月5日（金）までに下記事務局まで郵送またはメールにてお申し込みください。

11 その他

翌日の平成26年11月1日（土）に公益財団法人テクノエイド協会会議室にて福祉用具相談担当者等を対象に福祉用具相談・研修機関協議会設立記念「福祉用具を安全で安心して利用するためのセミナー（仮）」を開催する予定です。

詳細につきましては、別途、受講対象者へご案内いたします。

【申込み・問い合わせ先】

福祉用具相談・研修機関等協議会 事務局

公益財団法人テクノエイド協会 普及部

（担当：根石、湯浅）

住所：〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL：03-3266-6884 FAX：03-3266-6885

Eメール：fukyu@techno-aids.or.jp

福祉用具相談・研修機関協議会 全国会議プログラム（平成26年度）

【第1日目】10月30日（木）

- 11：00～12：00 福祉用具相談・研修機関協議会総会
- 12：30～ 受付
- 13：00～ 開会式
- 13：10～ 記念講演 公益財団法人テクノエイド協会 大橋謙策 理事長
- 14：10～ 休憩（10分）
- 14：20～ 行政説明 厚生労働省老健局振興課（40分）
- 15：00～ 行政説明 経済産業省製造産業局産業機械課（40分）
- 15：40～ 公益財団法人テクノエイド協会報告（20分）
- 16：00～ 休憩（10分）
- 16：10～ テーマ別検討
- 《第1テーマ》「病院・施設における福祉用具の利用促進」
- 介護保険制度は、在宅における福祉用具の高機能化・多機能化を果たし、パーソナル化を進めました。その一方で病院や施設では、福祉用具の利用は進んでおらず、通称「運搬車」といわれる車いすが備品として使用されています。また、リフト等の福祉用具を使わない介護技術により従事者の腰痛は深刻な状況になっています。そこで病院や施設での福祉用具の利用が進むための方策を考えます。
- 進行：富山県介護実習・普及センター 押川なおみ 所長
- 17：30～ 第1日目終了
- 18：00～ 情報交換会（弘済会館4階「菊」）

【第2日目】10月31日（金）

9：00～ 前日に続きテーマ別検討

《第2テーマ》「福祉用具のコストパフォーマンス」

高齢者の自立支援や介護者の負担軽減に資するため、国をあげて介護ロボットの開発・普及がすすめられています。はたして福祉用具や介護ロボットは人材に取って代わるのでしょうか。ここでは自動排泄処理装置等を一つの材料に、福祉用具のコストパフォーマンスについて考えます。

進行：公益財団法人テクノエイド協会 寺光鉄雄 普及部長

10：00～ 休憩（10分）

10：10～

《第3テーマ》「福祉用具貸与事業者がサービス事業者として目指すこと」

一部の地域では福祉用具貸与の行き過ぎた価格競争が続き、一部の貸与事業所では利用者の身体に触れないような福祉用具の納品が行われています。介護保険制度では利用者の自立や介護者の負担軽減に寄与するものとして、福祉用具貸与事業者をサービス事業者として位置づけています。ここでは福祉用具を扱うサービス事業者としての専門性や教育のあり方を明らかにしていくことを考えます。

進行：公益社団法人関西シルバーサービス協会 記虎孝年 理事長

11：10～ 休憩（10分）

11：20～

《第4テーマ》「介護保険制度の中で広域拠点としてすべきこと」

地域包括ケアは、日常生活圏域を軸として、その構築に向けた議論が進んでいます。しかし、ある種の専門機関は2次保健医療圏域や都道府県に1箇所設置されている「広域拠点」が多いことも事実です。ここでは広域拠点として存在する福祉用具相談・研修機能を有する機関が、介護保険制度を中心とした今後の日常生活圏域における活動に、どのように関与し、役割機能を展開すべきかを考えます。

進行：千葉県千葉リハビリテーションセンター 田中康之 地域支援室長

12：20～ 昼食（準備いたします）

13：00～ 全体まとめ（80分）

進行：北海道社会福祉協議会 生活困窮者自立支援担当部長
北海道介護実習・普及センター 特命担当 中村健治 氏

14：50～ 閉会式（15：00終了予定）

会場ご案内図



J R 中央線・総武線「四ツ谷駅」麹町出口 徒歩 5 分

地下鉄 丸の内線・南北線「四ツ谷駅」1 番出口 徒歩 5 分

弘済会館（住所：東京都千代田区麹町 5-1 ） TEL：03-5276-0333

福祉用具相談・研修機関協議会 平成 26 年度全国会議 参加申込書

※必要事項にご記入または○をお付けください。

福祉用具相談・研修機関協議会 殿				
下記のとおり平成 26 年度全国会議に申込みます。 協議会(会 員 非会員)				
機関名				
所在地	〒			
電話番号				
参加者	職 名		情報交換会 (該当に○)	参 加 不参加
	ふりがな			
	氏 名			
参加者	職 名		情報交換会 (該当に○)	参 加 不参加
	ふりがな			
	氏 名			
参加者	職 名		情報交換会 (該当に○)	参 加 不参加
	ふりがな			
	氏 名			
請求書宛名	全国会議(機関名一括 各個人名) 情報交換会(機関名一括 各個人名)			